

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	TOEIC730点突破 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	TOEIC730点突破 Part2 応答問題	リスニング力の向上
学年	2年生	担当教員	阿部/皆川	3	TOEIC730点突破 Part3 会話問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC730突破	時間数	170単位時間	4	TOEIC730点突破 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	TOEIC730点突破 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading 問題集3、TOEICテスト究極の模試600問			6	TOEIC730点突破 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材				7	TOEIC730点突破 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	TOEIC730点突破 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標				9	TOEIC730点突破 Part7 読解問題	リーディング力の向上
科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け 9月のTOEIC公開テストで700点、11月のTOEIC公開テストで800点をを目指す				10	TOEIC730点突破 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEICテストミニ模試 P184～191	総合的な得点力の向上
				12	TOEICテストミニ模試 P192～190	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
授業の進め方・学習方法・課題				14	TOEICテスト公式問題集 P38～41 DUO section1～3	総合的な得点力の向上
問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。				15	TOEICテスト公式問題集 P42～45 DUO section4～7	総合的な得点力の向上
				16	TOEICテスト公式問題集 P51～54 DUO section8～10	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 P55～58 DUO section11～13	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 P59～62 DUO section14～17	総合的な得点力の向上
				19	TOEIC直前テスト勉強	公開テスト対策
				20	TOEICテスト公式問題集 P63～66 DUO section18～20	総合的な得点力の向上
評価方法・成績評価基準				21	TOEICテスト公式問題集 P67～70 DUO section21～23	総合的な得点力の向上
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	TOEICテスト公式問題集 P71～74 DUO section24～27	総合的な得点力の向上
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	TOEICテスト公式問題集 P75～78 DUO section28～30	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 P79～82 DUO section31～33	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 P83～P86 DUO section34～37	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 P87～90 DUO section38～40	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 P91～94 DUO section41～43	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC直前テスト勉強	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 P95～98、DUO section44～45	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 P99～102	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 P103～106	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴				32	TOEICテスト公式問題集 P107～110	総合的な得点力の向上
				33	TOEICテスト公式問題集 P111～114	総合的な得点力の向上
				34	TOEICテストまとめ	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	1	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 人物の動作表現	5月TOEIC受験対策
学年	2年生	担当教員	阿部/皆川	2	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 物に関する描写	5月TOEIC受験対策
科目名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	170単位時間	3	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 疑問詞を使った疑問文	5月TOEIC受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 依頼・提案・申し出	5月TOEIC受験対策
使用テキスト名	TOEICテスト公式問題集/TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)/DUO			5	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 週1～週4までの復習	5月TOEIC受験対策
補助教材				6	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 店・ホテルなどでの会話	7月TOEIC受験対策
科目概要と科目到達目標 TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。				7	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 電話での会話	7月TOEIC受験対策
				8	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) オフィスでの会話	7月TOEIC受験対策
授業の進め方・学習方法・課題 問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。				9	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 週6～週8までの復習	7月TOEIC受験対策
				10	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 留守電メッセージ	7月TOEIC受験対策
				11	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) アナウンス・広告・ニュース	7月TOEIC受験対策
				12	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 週1～週11までの総復習	7月TOEIC受験対策
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				13	TOEICテスト公式問題集 P38～41 DUO section1～3	11月TOEIC受験対策
				14	TOEICテスト公式問題集 P42～45 DUO section4～7	11月TOEIC受験対策
				15	TOEICテスト公式問題集 P51～54 DUO section8～10	11月TOEIC受験対策
				16	TOEICテスト公式問題集 P55～58 DUO section11～13	11月TOEIC受験対策
				17	TOEICテスト公式問題集 P59～62 DUO section14～17	11月TOEIC受験対策
				18	TOEIC直前テスト勉強	11月TOEIC受験対策
				19	TOEICテスト公式問題集 P63～66 DUO section18～20	11月TOEIC受験対策
				20	TOEICテスト公式問題集 P67～70 DUO section21～23	11月TOEIC受験対策
実務経験教員の経歴				21	TOEICテスト公式問題集 P71～74 DUO section24～27	11月TOEIC受験対策
				22	TOEICテスト公式問題集 P75～78 DUO section28～30	11月TOEIC受験対策
				23	TOEICテスト公式問題集 P79～82 DUO section31～33	1月TOEIC受験対策
				24	TOEICテスト公式問題集 P83～P86 DUO section34～37	1月TOEIC受験対策
				25	TOEICテスト公式問題集 P87～90 DUO section38～40	1月TOEIC受験対策
				26	TOEICテスト公式問題集 P91～94 DUO section41～43	1月TOEIC受験対策
				27	TOEIC直前テスト勉強	1月TOEIC受験対策
				28	TOEICテスト公式問題集 P95～98、DUO section44～45	3月TOEIC受験対策
				29	TOEICテスト公式問題集 P99～102	3月TOEIC受験対策
				30	TOEICテスト公式問題集 P103～106	3月TOEIC受験対策
				31	TOEICテスト公式問題集 P107～110	3月TOEIC受験対策
				32	TOEICテスト公式問題集 P111～114	3月TOEIC受験対策
				33	TOEICテスト公式問題集 P115～117	3月TOEIC受験対策
				34	TOEICテストまとめ	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	6月受験対策
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	6月受験対策
学年	2年生	担当教員	坂上/小林/寺田	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	6月受験対策
科目名	English Strategy 英検2級	時間数	170単位時間	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	6月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	2級過去問題集2015年第2回 解答解説 リスニング30問	6月受験対策
使用テキスト名	2019年度版 英検2級過去問題集 出る順で最短合格単熟語EX			6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	6月受験対策
補助教材				7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2017年第2回長文解説	6月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2015年第3回解答	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2016年第1回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
【成績評価基準】				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156 解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
				1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	10月受験対策				
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	英検準2級英単語1550 P14～24 リスニング30問	10月受験対策				
学年	2年生	担当教員	坂上/小林/寺田/	3	英検準2級過去問題集2019年第1回 解答解説	10月受験対策				
科目名	English Strategy 英検準2級	時間数	170単位時間	4	英検準2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	10月受験対策				
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	準2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策				
使用テキスト名	2021年度版 英検準2級過去問題集 英検準2級英単語1550			6	長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策				
補助教材	英検準2級総合対策			7	英検準2級対策P25～35 準2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策				
科目概要と科目到達目標				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策				
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				9	英検準2級対策P36～46 準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策				
				10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策				
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策				
				12	英検準2級対策P47～57 準2級過去問題集	10月受験対策				
				13	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策				
				14	英検準2級総合対策P58～68 2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策				
				15	英検準2級総合対策P69～79 準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策				
授業の進め方・学習方法・課題				16	短文暗唱テスト 英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策				
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策を定期的に行う 対面授業と遠隔授業の併用実施				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策				
				18	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策				
				19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策				
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策				
				21	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P58～68	10月受験対策				
評価方法・成績評価基準				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策				
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策				
				24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テスト	1月受験対策				
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策				
				26	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策				
				27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策				
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策				
				29	英検準2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策				
				30	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策				
				31	英検準2級対策P146～156 解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策				
				実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
								33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
								34	単熟語テスト100問 長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに	国際線について 概要 手続き他
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	1年次の復習	予備知識の確認
学年	2年生	担当教員	大野 孝予	3	1年次の復習	予備知識の確認
科目名	INFINI 国際線初級・中級	時間数	74単位時間	4	1年次の復習	予備知識の確認
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	予約システムと基本操作	基本操作への理解
使用テキスト名	INFINI Reservation and Fare Pricing			6	予約システムと基本操作	基本操作への理解
補助教材				7	検索	各種コードの検索
				8	スケジュール照会	週間・特定便のスケジュール照会
科目概要と科目到達目標				9	フライト予約 空席照会からの予約	予約発券業務への操作の理解 実技演習
<p>○科目概要:ANAグループ国際線の予約・発券システムです。ANAグループの飛行機の予約・発券についてお役様がインターネット以外でお申込みをされる際は、旅行会社、予約センター他で受け付けておりその際スタッフがお手伝いさせていただきます。</p> <p>使用する共通の予約発券システムを使用。</p> <p>○科目到達目標:1年間で国際線取得に向け授業を進める。また、実技対応として、考えて対応できるスキルを身に付ける。</p> <p>授業の進め方・学習方法・課題</p> <p>○教科書を主体に、基礎知識を身に付けながら、実際PCを活用し習得する方法である。</p> <p>講師より予め、問題を作成されたものを練習問題とし学生がPCを使って予約・発券に取り組む学習方法。</p> <p>課題に関して、自宅ではできない為授業時間内にて、説明→PC操作→解答→PC操作など繰り返すことで身に付けていく。</p> <p>評価方法・成績評価基準</p> <p>①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-70点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>				10	フライト予約 便名指定による予約	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				11	旅程の取り消し・挿入・移動	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				12	旅客データ入力	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				13	PNRの完了 中断	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				14	PNRの抽出	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				15	事前座席指定	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				16	SSR 特別に配慮のあるお客様情報入力	旅客情報入力
				17	小テスト	まとめ
				18	SSRの概要	旅客情報入力
				19	SSR 機内食 小児 幼児情報	特別運賃料金への理解
				20	SSR 旅客データ	運賃計算への理解
				21	PNRの分割・PNRのコピー	航空券の有効期限・払戻への知識
				22	PNRの分割・PNRのコピー	発券ファイルとは・理解と応用
23	PNRのヒストリー	発券ファイルとは・理解と応用				
24	PNRのヒストリー	発券ファイルとは・理解と応用				
25	キュー処理概要	問い合わせ概要				
26	キュー処理	問い合わせ概要				
27	キュー処理フォローアップ	問い合わせ概要				
28	キューBOXの編集	問い合わせ概要				
29	まとめ	まとめ				
30	まとめ	まとめ				
31	ロールプレイ	総まとめ 実技				
実務経験教員の経歴				32	ロールプレイ	総まとめ 実技
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 22年間				33	検定対策	検定試験 事前学習
				34	検定対策	検定試験 事前学習

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	現在の航空業界ニュース等	現状の航空業界のサービスなどの情報把握
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	国内航空約款	約款について 航空券について
学 年	2年生	担当教員	北村 裕美	3	国内航空約款	
科 目 名	航空ビジネスⅡ	時間数	34単位時間	4	国内航空約款	航空券について
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	国内航空約款	有効期限
使用テキスト名	月間エアステージ			6	国内航空約款	航空券の変更 払戻
補助教材	ANAグランドスタッフ入門 パワーポイント スライド			7	国内航空約款	航空券の延長
				8	国内航空約款	手荷物について
科目概要と科目到達目標				9	国内航空約款	手荷物について
<p>○科目概要:航空業界に必要な基礎知識を始め、航空業界で働く人に必要な専門知識を学ぶ。空港ハンドリング整備・出入国・保安関連業務・機内での業務・オフィスでの業務など様々な職種に対応できる科目である。</p> <p>○科目到達目標:航空業界に必要な基礎知識と専門知識を習得し、臨機応変に対応できるよう即戦力になるよう小テストやロールプレイなども併せて到達目標とする。</p>				10	国内航空約款	イレギュラーについて
				11	国内航空約款	イレギュラーについて
				12	航空時刻表の種類と構成	見方
				13	テスト	
				14	国際航空約款	航空券について
授業の進め方・学習方法・課題				15	国際航空約款	有効期限
<p>○航空業界の基礎知識を習得するために、毎回小テストの実施。基礎固めができれば、航空約款から始まり、それぞれの航空会社などポイントをまとめて進めていく。</p> <p>学習方法としては、毎回小テストなどがあるので基礎知識を理解し習得することが課題である。</p> <p>○対面授業と遠隔授業の併用実施</p>				16	国際航空約款	航空券の変更 払戻
				17	国際航空約款	航空券の延長
				18	国際航空約款	手荷物について
				19	国際航空約款	イレギュラーについて
				20	国際航空約款	イレギュラーについて
評価方法・成績評価基準				21	国際線への知識	イレギュラーについて
<p>①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-79点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>				22	航空運賃の種類と解説	国内線と国際線の違い
				23	出入国の書類の種類と解説	国際線について
				24	出入国関係法令・旅券の種類・査証とは	概要・一般旅券 発給と手続
				25	通関手続きに関する法令	法令とは
				26	CIQについて	様々な職種と役割
				27	出国時の旅具通関・帰国時の旅具通関	通関とは
				28	免税範囲・関税税率	通関とは
				29	輸入禁止品及び輸入規制品	概要
				30	外国為替関係法令	概要
				31	OAGについて	様々な時刻表の見方他
				実務経験教員の経歴		
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界に必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験7年。				33	時差と所要時間の計算	計算方法
				34	テスト	テストをとおしてまとめる

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	1	国内地理 北陸地方① 自然・観光地・その他の情報	
学年	2年生	担当教員	北村 裕美	2	国内地理 北陸地方②	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
科目名	地理Information II	時間数	34単位時間	3	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	国内地理 関東地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
使用テキスト名	旅にでたくなる日本地図			5	国内地理 関東地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
補助教材	旅行業実務シリーズ 国内観光地理			6	国内地理 関東地方③ 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
				7	国内地理 関東地方④ 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
				8	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
科目概要と科目到達目標				9	国内地理 中部地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
就職先のひとつとして、空港内にあるインフォメーションカウンターに対応できる案内知識を学ぶ。 世界遺産検定や旅行士検定(海外)の取得も目指す				10	国内地理 中部地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
				11	国内地理 中部地方③ 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
				12	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
				13	国内地理 関西地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
				14	国内地理 関西地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
○引き続き1年次からの、都道府県の観光地を学ぶ それぞれの分野が終了した段階で小テストなどを重ねて知識をつけていく。 地図帳には、学んだ景観や観光地などをチェックして場所の確認をする。				16	国内地理 山陰地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
				17	前期 まとめ	ウィークポイントの把握と確認
				18	前期振り返り①	
				19	前期振り返り②	
				20	国内地理 山陰地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
評価方法・成績評価基準				21	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	国内地理 四国地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
				24	国内地理 九州・沖縄地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
				25	国内地理 九州・沖縄地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識 & 習得
				26	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
				27	旅行プランニング①	新しい視点から見る日本の観光地
				28	旅行プランニング②	新しい視点から見る日本の観光地
				29	旅行プランニング③	新しい視点から見る日本の観光地
				30	旅行プランニング & プレゼンテーション①	各自観光地のツアープランの提案
				31	旅行プランニング & プレゼンテーション②	各自観光地のツアープランの提案
実務経験教員の経歴				32	旅行プランニング & プレゼンテーション③	各自観光地のツアープランの提案
航空会社にてグラウンドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、就航路線など観光地などの基礎的知識や観光名称など観光に関わる実務経験7年。				33	総まとめ①	総括とまとめ
				34	総まとめ②	総括とまとめ

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの基本を学ぶ
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	様々なプレゼンテーション方法 スティーブ・ジョブズ編	様々なプレゼンテーションを学ぶ
学 年	2年生	担当教員	坂上啓貴	3	様々なプレゼンテーション方法 著名なプレゼンター編	様々なプレゼンテーションを学ぶ
科 目 名	プレゼンテーション	時間数	17単位時間	4	ジェスチャーやギミックを取り入れたプレゼンテーション実践①	様々なプレゼンテーションを学ぶ
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	ジェスチャーやギミックを取り入れたプレゼンテーション実践②	様々なプレゼンテーションを学ぶ
使用テキスト名	プレゼンテーション実践			6	グループでの発表練習①	プレゼンテーションの実践
補助教材				7	グループでの発表練習②	プレゼンテーションの実践
科目概要と科目到達目標				8	グループでの発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
プレゼンテーションスキルを身に付け、後期に行う集大成発表会での実践と今後の社会生活における人前で話すという事に慣れ、自身の意見を発信できる大人になれるよう学習する				9	ペアでの発表練習①	プレゼンテーションの実践
				10	ペアでの発表練習②	プレゼンテーションの実践
				11	ペアでの発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
授業の進め方・学習方法・課題				12	一人での発表練習①	プレゼンテーションの実践
様々なプレゼンテーション方法を実践し、個人/グループで発表を積極的に行う。 オンラインと対面授業の併用にて実施				13	一人での発表練習②	プレゼンテーションの実践
				14	一人での発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
				15	実践テスト発表準備	プレゼンテーションの実践
評価方法・成績評価基準				16	実践テスト発表準備	プレゼンテーションの実践
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				17	実践テスト発表準備	プレゼンテーションの実践
				18		
				19		
【成績評価基準】				20		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				21		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				22		
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				23		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				24		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				25		
実務経験教員の経歴				26		
				27		
				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		



国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに	
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	ユニバーサルサービスを始めよう	ユニバーサルサービスの基本
学年	2年生	担当教員	北村裕美	3	ユニバーサルサービスに取り組むメリット	お客様への満足・地域の活性化につながる
科目名	ユニバーサルサービス	時間数	17単位時間	4	ユニバーサルサービスの実践に向けて	ユニバーサルサービスの心を考える
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	ユニバーサルサービスのレシビを考える	笑顔を伝える
使用テキスト名	ユニバーサルサービス			6	理解度チェック	
補助教材	パワーポイント スライド			7	視覚に不自由を感じていることへのサービス	視覚障害とは
科目概要と科目到達目標				8	様々な視覚障害	色覚障害 弱視 視力の低下
				9	様々な視覚障害	盲導犬 聴導犬 介助犬
ユニバーサルサービスは、年齢や性別、障害の有無にかかわらず「すべての人」へのサービスです。 そのすべての人へのサービスの対処方法などが、率先して対応できるよう身につける				10	聴覚に不自由を感じる人へのサービス	聴覚障害とは
				11	様々な聴覚障害	難聴とは その人たちの暮らし
				12	肢体に不自由を感じる方へのサービス	事故やケガ
				13	車イスでの案内方法	
				14	高齢者・認知症の方へのサービス	
				15	テスト	視覚障害の人への案内
授業の進め方・学習方法・課題				16	テスト	車イスでの案内
障害をお持ちのお客様への対処方法としては、基本サービス介助の指導方法として進める 様々なお客様への対応としては、前期で学んだサービス論から自分で考えた中でどのようなことを提供できるかを 身に着けてもらう ○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	テスト	筆記試験
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①実習試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
実務経験教員の経歴				33		
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で体の不自由な人に対する対処法など、専門知識などサービス介助士に関わる実務経験7年。				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	手話検定5級の復習	振返り
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	手話検定5級の復習	振返り
学年	2年生	担当教員	北村裕美	3	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
科目名	手話Ⅱ	時間数	68単位時間	4	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門			6	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
補助教材				7	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
				8	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
科目概要と科目到達目標				9	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
手話検定試験4級取得に向けた授業展開				10	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
⇒基本的な手話表現力ができる あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる。				11	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。				12	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
				13	手話検定試験4級取得への道	過去問題①
				14	手話検定試験4級取得への道	過去問題②
授業の進め方・学習方法・課題				15	手話検定試験4級取得への道	過去問題③
手話検定4級取得に向けて、検定対策の単語学習・ロールプレイの実施。手話も言語のひとつということから楽しく手話を学んでいく。				16	手話検定試験4級取得への道	過去問題④
				17	手話検定試験4級 検定日	検定日
○対面授業と遠隔授業の併用実施				18	手話を実用的に使う	
				19	手話を使いながら、ロールプレイ 空港	チェックイン・手荷物
				20	手話を使いながら、ロールプレイ 空港	GATE対応
評価方法・成績評価基準				21	手話を使いながら、ロールプレイ 空港	その他の対応
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	まとめ ロールプレイチェック	テスト
【成績評価基準】				23	まとめ ロールプレイチェック	テスト
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	手話を使いながら、ロールプレイ ホテル	フロント 案内
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	手話を使いながら、ロールプレイ ホテル	お客様対応 レストラン
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	手話を使いながら、ロールプレイ ホテル	その他の対応
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	まとめ ロールプレイチェック	テスト
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	まとめ ロールプレイチェック	テスト
				29	手話で発表してみよう	概要説明
				30	手話で発表してみよう	発表
				31	手話で発表してみよう	発表
実務経験教員の経歴				32	手話で発表してみよう	発表
				33	手話で発表してみよう	発表
				34	まとめ	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	1年次からの振り返り	自分自身のセルフプレゼンテーション
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	現在の就職活動報告①	それぞれの就職報告
学 年	2年生	担当教員	玉利 樹美枝	3	現在の就職活動報告②	それぞれの就職報告
科 目 名	面接対応Ⅱ	時間数	34単位時間	4	人となりからの面接質問	面接官は何を見ているのか？
開講期間	前期	授業形態	オンライン授業	5	人となりからの面接質問	面接官は何を見ているのか？
使用テキスト名				6	人となりからの面接質問	面接官は何を見ているのか？
補助教材	パワーポイント スライド			7	お互いを面接する	客観的に自分を見る
				8	お互いを面接する	客観的に自分を見る
科目概要と科目到達目標				9	面接模擬テスト	集団面接
科目概要：希望する業種などを把握し、それぞれの企業に向けた面接指導				10	面接模擬テスト	集団面接
科目到達目標：就職内定者の排出				11	グループディスカッション	・グループディスカッションとは？
				12	グループディスカッション	・グループディスカッションとは？
				13	グループディスカッション と ワークショップ	・グループディスカッションとは？
				14	グループディスカッション と ワークショップ	ワークショップから受験を見え方
授業の進め方・学習方法・課題				15	前期 面接模擬テスト	集団面接
航空業界の試験内容と進め方を紹介。また、ESが通過するための極意など航空業界に必要なポイントなどを踏まえ伝授する。課題は自己分析などプリントなどを配布し記入しながら、材料を貯めていく。				16	前期 面接模擬テスト	集団面接
				17	まとめ	まとめ
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
客室乗務員として、国内線・国際線乗務し、様々な国へフライト実績あり。また専門学校講師としての経験あり。				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	企業研究を何故するのか？	ミスマッチングを防ぐ やりたいことを見つける
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	企業研究のやり方・進め方	会社情報から何を読み解くか？何を見る
学 年	2年生	担当教員	北村裕美	3	企業研究①	事例①
科 目 名	企業研究とサービス論	時間数	17単位時間	4	企業研究②	事例②
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	企業研究③	事例③
使用テキスト名				6	サービスとホスピタリティ	サービス&ホスピタリティの理解
補助教材	パワーポイント スライド			7	顧客満足とは？ロイヤルカスタマーを作る	期待値と顧客満足を超えるとは
科目概要と科目到達目標				8	サービス研究 ①	リアル企業のサービス紹介
				9	サービス研究 ②	リアル企業のサービス紹介
<p>企業研究から、企業のサービスとはどんなものなのか？</p> <p>また、サービスとは何か？ホスピタリティとの違いは？などを学び、将来接客業に就くために必要なサービスマインド</p> <p>またクレーム対応としてどのような対応をすれば良いか？なども併せて学ぶ。</p>				10	サービス研究 ③	リアル企業のサービス紹介
				11	クレームは何故起こるのか？	自己中心的な心理
				12	お客様の心理を理解する	不快・不満・に思う心理・接客時の対応
				13	2次クレームとヒューマンエラーとは？	アフターケアとビフォーサービス
				14	発表	企業研究 発表
				15	発表	企業研究 発表
授業の進め方・学習方法・課題				16	発表	企業研究 発表
				17	発表	企業研究 発表
<p>様々な企業のサービスやホスピタリティを学び、ディスカッションも併せて進めて考えさせる。</p> <p>最後には、自分の興味のある企業を絞り込みパワーポイントで発表する。</p> <p>○対面授業と遠隔授業の併用実施</p>				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
<p>①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-79点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界の企業研究の進め方や業界でのサービス対応に関わる実務経験あり。				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	マナープロトコールとは何か？
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	序章 プロトコール概要	マナー エチケット 礼儀 作法違い
学 年	2年生	担当教員	北村 裕美	3	第1章 マナーの歴史と意味	日本の礼儀 作法の成り立ち
科 目 名	マナープロトコール	時間数	34単位時間	4	第1章 マナーの歴史と意味	西洋のエチケットの成り立ち
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	第2章 国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則
使用テキスト名	マナープロトコール			6	第3章 社会人に必要なマナー	好印象を与えるには？
補助教材	パワーポイント スライド			7	第4章 ビジネスシーンのマナー	ビジネスマナーの必要性
				8	第5章 食事のマナー	食事の作法
科目概要と科目到達目標				9	第5章 食事のマナー	和食 西洋など
科目概要：日本のマナーを習得した上で、国際的なマナーの習得				10	第6章 お酒のマナー	お酒の種類 ワイン基礎知識
科目到達目標：マナープロトコール検定3級取得を目指す				11	第7章 「冠」のしきたり	冠婚葬祭とは
				12	第8章 「婚」のしきたり	結婚の変遷
				13	第9章 「葬」のしきたり	葬のしきたり
				14	第10章「祭」のしきたり	祭りのしきたり
授業の進め方・学習方法・課題				15	小テスト	ウィークポイントの把握
1年次で秘書検定のマナーを学んだことを基本に、世界的なマナーを習得する。				16	小テスト	ウィークポイントの把握
各章で学んだことを小テストなどで確認作業の実施				17	検定試験 3級受験	
				18	前期からの振り返り	ウィークポイントの把握
				19	第3章 社会人に必要なマナー	礼装の基準
				20	第4章 ビジネスシーンのマナー	電話応対 名刺 お茶の出し方他
評価方法・成績評価基準				21	第5章 食事のマナー	食事の作法
①定期テストの点数30% ②発音の正確さ30%、③出席率20%、④授業態度20%				22	第5章 食事のマナー	洋食 中華 作法について
【成績評価基準】				23	第6章 お酒のマナー	ワインの知識
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第7章 お酒のマナー	その他のお酒の楽しみ方
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第7章 「冠」のしきたり	日本の通過儀礼
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	第7章 「冠」のしきたり	日本の通過儀礼
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	第8章 「婚」のしきたり	結婚式のマナー
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	第8章 「婚」のしきたり	結婚式のマナー
				29	第9章 「葬」のしきたり	仏式 神式 キリスト教 違い
				30	第10章「祭」のしきたり	行事しきたり
				31	第10章「祭」のしきたり	行事しきたり
実務経験教員の経歴				32	検定試験 2級受験	
航空会社にてグラウンドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界から得たマナーなど、社会人にて必要なビジネスマナー対応など関わる実務経験7年。マナープロトコール協会より認定講師				33	まとめ	まとめ
				34	まとめ	まとめ

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	ハングル能力試験対策1	模擬問題を解く
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必修	2	ハングル能力試験対策2	模擬問題を解く
学年	2年生	担当教員	中林・平山・金相範	3	ハングル能力試験対策3	模擬問題を解く
科目名	韓国語Ⅱ	時間数	68単位時間	4	ハングル能力試験対策4	模擬問題を解く
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	ハングル能力試験対策5	模擬問題を解く
使用テキスト名	実用韓国語文法初級			6	ハングル能力試験対策6	模擬問題を解く
補助教材				7	ハングル能力試験対策7	模擬問題を解く
				8	10. 値段を聞く1	日常会話
科目概要と科目到達目標				9	10. 値段を聞く2	日常会話
科目概要:韓国語の基礎を学び挨拶などのコミュニケーションがとれるようにする				10	11. 食べ物について聞く1	日常会話
科目到達目標:ハングル能力検定試験 4級取得				11	11. 食べ物について聞く2	日常会話
				12	12. 相手を待たせる表現を学ぶ1	日常会話
				13	12. 相手を待たせる表現を学ぶ2	日常会話
				14	13. 歳と数字について学ぶ1	日常会話
授業の進め方・学習方法・課題				15	前期試験	
テキストに沿って問題を進めていき、ワークブックの問題を解く				16	ハングル能力試験対策8	模擬問題を解く
				17	ハングル能力試験対策9	模擬問題を解く
				18	ハングル能力試験対策10	模擬問題を解く
				19	ハングル能力試験対策11	模擬問題を解く
				20	ハングル能力試験対策12	模擬問題を解く
評価方法・成績評価基準				21	ハングル能力試験対策13	模擬問題を解く
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	ハングル能力試験対策14	模擬問題を解く
【成績評価基準】				23	ハングル能力試験対策15	模擬問題を解く
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	ハングル能力試験対策16	模擬問題を解く
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	ハングル能力試験対策17	模擬問題を解く
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	ハングル能力試験対策18	模擬問題を解く
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	13. 歳と数字について学ぶ2	日常会話
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	14. 自分がしたいことについて話せる1	日常会話
				29	14. 自分がしたいことについて話せる2	日常会話
				30	補助教材1. 全業種共通フレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
				31	補助教材2. 飲食業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
実務経験教員の経歴				32	補助教材3. 販売業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
				33	補助教材4. 宿泊・レジャー・美容業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
				34	後期試験	

## 国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必修	1	第9課 一共多少钱?	選択疑問文の使い方を覚える
学年	2年生	担当教員	富田朋美	2	第9課 一共多少钱?	金額の言い方を覚える
科目名	中国語Ⅱ	時間数	68単位時間	3	第9課 一共多少钱?	動詞の重ね型を覚える
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	第10課 大学里有书店	存在を表す「在」と「有」の使い分け
使用テキスト名	新・ゼロから学ぶ中国語 検定試験合格への道のり			5	第10課 大学里有书店	「的」の用法を覚える
補助教材				6	第10課 大学里有书店	連動文を覚える
科目概要と科目到達目標				7	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				8	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
科目概要:文法の確認を中心にしながら基礎を学び、挨拶や自己紹介、買い物や旅行等、 中国で通じる中国語の習得を目指す 科目到達目標:中国語検定4級				9	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				10	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
授業の進め方・学習方法・課題				11	第11課 我去过中国	助動詞の使い方を覚える
				12	第11課 我去过中国	経験を表す言葉を覚える
文法を確認しながら、日常生活で通用する中国語を学ぶ				13	第11課 我去过中国	「(是)～的」の文を覚える
				14	第12課 我家在做作业呢	現在進行形を覚える
評価方法・成績評価基準				15	第12課 我家在做作业呢	時間量を覚える
				16	第12課 我家在做作业呢	比較の表現を覚える
①定期試験・検定合格 40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				17	第13課 我家离大学不太远	前置詞の種類を覚える
				18	第13課 我家离大学不太远	前置詞の使い分けを覚える
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				19	第13課 我家离大学不太远	「怎么」と「怎么样」の使い分けを知る
				20	第14課 我得打工	助動詞の使い方を覚える
【成績評価基準】				21	第14課 我得打工	二重目的語を持つ動詞を覚える
				22	第14課 我得打工	二重目的語を持つ動詞の文を作る
実務経験教員の経歴				23	第15課 我们快放假了	未来形を覚える
				24	第15課 我们快放假了	未来形を入れた文を作る
				25	第15課 我们快放假了	程度を表す助詞「得」の文を覚える
				26	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				27	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				28	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				29	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				30	一問一答①	質問を聞いて、即答できるようになる
				31	一問一答②	質問を聞いて、即答できるようになる
				32	一問一答③	質問を聞いて、即答できるようになる
				33	期末テスト	
				34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに 2年次メイクの授業進度について	
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	効果発表 ・自分のメイク	1年次の振り返りと現状把握
学年	2年生	担当教員	加藤広美	3	効果発表 ・自分のメイク	1年次の振り返りと現状把握
科目名	Image Making II	時間数	68単位時間	4	効果発表 ・改善点	1年次の振り返りと現状把握
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	効果発表 ・改善点	1年次の振り返りと現状把握
使用テキスト名				6	メイク改善点①	1年次の振り返りと現状把握
補助教材	エアステージ			7	メイク改善点②	1年次の振り返りと現状把握
				8	メイク改善点③	1年次の振り返りと現状把握
科目概要と科目到達目標				9	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
科目概要:髪型を含め、受験企業に合わせたメイクの仕方とPTOに合わせたメイクをアレンジできるように技術を身に付ける				10	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
科目到達目標:メイク、ヘアアレンジ、身だしなみ、マナーを学び、オフィスで好印象を与えるトータルコーディネートを身に付ける				11	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
				12	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
				13	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
				14	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
授業の進め方・学習方法・課題				15	IMAG MAKING ・TOTAL MAKING	印象の良い身だしなみについて
講師のメイク方法をサンプルとして紹介。講師のガイダンスを参考に自分でメイクを施す				16	IMAG MAKING ・TOTAL MAKING	印象の良い身だしなみについて
講師による改善指導				17	IMAG MAKING ・TOTAL MAKING	印象の良い身だしなみについて
○対面授業と遠隔授業の併用実施				18	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
				19	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
				20	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
評価方法・成績評価基準				21	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
【成績評価基準】				23	効果発表 ・改善点	講師による改善点の指導
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	効果発表 ・改善点	講師による改善点の指導
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	効果発表 ・改善点	講師による改善点の指導
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	ヘアメイク集中講義①	ヘアアレンジ
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	ヘアメイク集中講義②	ヘアアレンジ
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	ヘアメイク集中講義③	ヘアアレンジ
				29	IMAGE MAKING ・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
				30	IMAGE MAKING ・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
				31	IMAGE MAKING ・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
実務経験教員の経歴				32	IMAGE MAKING ・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
様々な企業への研修などを実施しており、プロのメイクアップアーティストである。ビジネスマナー用のメイクから、各航空会社へのメイクやヘアアップも担当 実務経験36年				33	トータルコーディネート	受験企業に合わせたメイクと身だしなみ
				34	トータルコーディネート	受験企業に合わせたメイクと身だしなみ



				週数	学習内容	学習のねらい
				1	貿易のしくみを知る	貿易の基本を知る
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	貿易実務とは	貿易の基本を知る
学年	2年生	担当教員	坂上啓貴	3	輸出者(輸出企業)	貿易の基本を知る
科目名	貿易実務Ⅱ	時間数	17単位時間	4	輸入車(輸入企業)	貿易の基本を知る
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	船会社・航空会社・混載業者	貿易の基本を知る
使用テキスト名	マンガでわかる貿易実務のきほん			6	ドレー会社・検量機関	貿易の基本を知る
補助教材				7	貿易条件を決める	貿易の基本を知る
				8	貿易取引にかかわる法律	貿易の基本を知る
科目概要と科目到達目標				9	輸送方法の選定	貿易の基本を知る
輸出・輸入について学び、就職後貿易実務を実践的に使用できるようになる。				10	航空輸送の基本と種類	貿易の基本を知る
輸出入の際に留意すべき点や航空業界で実践的に使用できる知識をつける。				11	航空運賃のしくみ	貿易の基本を知る
最終的にINVOICE、PACKING LISTが作成できるようになる。				12	Invoice(送り状)について	実践的知識の習得
				13	サンプルInvoice作成	実践的知識の習得
				14	Packing List作成	実践的知識の習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	サンプルPacking List作成	実践的知識の習得
テキストに従って進めるととも、PCを用いて書類を作成していく。				16	通関手続きの基本	実践的知識の習得
				17	Air Waybillの流れ	実践的知識の習得
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	1	第1章 文化	浮世絵、狂言、きもの、書道、 いけばなについて
学年	2年生	担当者	皆川先生	2	第1章 文化	
科目名	Japanese Cultures	週時間数	34単位時間	3	第1章 文化	
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	第1章 文化	剣道、神社、祭り
使用テキスト名	世界とくらべてわかる 日本まるごと紹介辞典			5	第1章 文化	
補助教材				6	第1章 文化	
科目概要と科目到達目標				7	第1章 文化	ゆかた、こたつ、正月、葬式、見合い
科目概要：日本文化研究で学んだ知識を参考に、日本文化を英語でどのように紹介するかを学びながら、プレゼンテーションスキルを身に付ける。				8	第2章 食べ物・飲み物	
科目到達目標：実際に外国人の前で日本文化を説明し、質問に対応する				9	第2章 食べ物・飲み物	
授業の進め方・学習方法・課題				10	第2章 食べ物・飲み物	家紋、盆栽、風呂敷、扇子
日本文化研究で調べた情報を英語に翻訳				11	第2章 食べ物・飲み物	
想定される質問を含めて、プレゼンテーションスキルを身に付ける				12	第2章 食べ物・飲み物	
評価方法・成績評価基準				13	第2章 食べ物・飲み物	忍者、皇室、切腹、将軍、温泉、花火
①実習50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				14	第2章 食べ物・飲み物	
				15	第2章 食べ物・飲み物	
				16	Assessment	
【成績評価基準】				17	Assessment	地下鉄、駅弁、侍、城、東京、京都
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				18	第3章 歴史・観光	
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				19	第3章 歴史・観光	
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				20	第3章 歴史・観光	年賀状、おもてなし、梅雨、建国記念日、 わびさび、マンガ
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				21	第3章 歴史・観光	
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	第3章 歴史・観光	
実務経験教員の経歴				23	第3章 歴史・観光	自衛隊、カラオケ、駄菓子、塾
				24	第3章 歴史・観光	
				25	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				26	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	年賀状、おもてなし、梅雨、建国記念日、 わびさび、マンガ
				27	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				28	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				29	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	自衛隊、カラオケ、駄菓子、塾
				30	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				31	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				32	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				33	Assessment	
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション①	授業導入の狙いと年間計画等について
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	観光の重要性	マーケティングの重要性と概念を理解する
学 年	2年生	担当教員	矢後 達夫	3	観光マーケティングの概念	マーケティングの重要性と概念を理解する
科 目 名	マーケティング	時間数	17単位時間	4	マーケティング発想(課題有)	マーケティングの重要性と概念を理解する
開講期間	前期及び後期	授業形態	対面授業	5	BTMIについて	マーケティングの重要性と概念を理解する
使用テキスト名	JTB総研「観光のマーケティング・マネジメント」			6	顧客ニーズについて	マーケティングの重要性と概念を理解する
補助教材	パワーポイントスライド			7	リッツカールトンの感動サービス	マーケティングの重要性と概念を理解する
				8	顧客価値とメカニズム	マーケティングの重要性と概念を理解する
科目概要と科目到達目標				9	サービスの定義と特性	マーケティングの重要性と概念を理解する
観光産業の人材育成のため、観光マーケティング理論・知識を習得する。				10	個人マーケット	観光マーケットと購買行動を学ぶ
観光以外の職業に就いたとしてもマーケティングの様々な課題を解決出来る知識を身に付ける。				11	団体マーケット	観光マーケットと購買行動を学ぶ
				12	購買プロセス	観光マーケットと購買行動を学ぶ
				13	価格弾力性	観光マーケットと購買行動を学ぶ
				14	成功の鍵を見つける手段①	環境分析について手法を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	成功の鍵を見つける手段②	環境分析について手法を学ぶ
テキストを中心に「観光マーケティング」の仕組みや考え方を学ぶ。				16	JR東日本のエキナカビジネス	環境分析について手法を学ぶ
通期の後半で、外部講師による「マーケティング」の実社会での取り組み等の講義を予定。				17	・外部講師(講演予定)16関連・レポート	環境分析について手法を学ぶ
				18	市場の細分化とターゲット設定	競争分析について手法を学ぶ
前期テスト(レポート)、後期テスト(選択・記述式)				19	ポジショニングについて(スターフライヤー)	競争分析について手法を学ぶ
				20	マーケティング基本戦略	競争分析について手法を学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	多様化するニーズへの対応	商品のマネジメントについて理解する
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	JALバック誕生	商品のマネジメントについて理解する
【成績評価基準】				23	ライフサイクル	価格マネジメントについて理解する
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	航空郵送から見た価格設定①	価格マネジメントについて理解する
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	航空郵送から見た価格設定②	価格マネジメントについて理解する
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	企業戦略①	価格マネジメントについて理解する
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	企業戦略②	価格マネジメントについて理解する
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	海外旅行商材	流通チャンネルのマネジメントを知る
				29	流通チャンネルについて	流通チャンネルのマネジメントを知る
				30	消費者へのメッセージ	流通チャンネルのマネジメントを知る
				31	メディア戦略	流通チャンネルのマネジメントを知る
実務経験教員の経歴				32	インバウンドマネジメント(外部講師予定)	プロモーションマネジメントを理解する
旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間				33	ホスピタリティーマネジメント	プロモーションマネジメントを理解する
				34	年度末テスト	習熟度確認

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	UNIT01:Ticketing for a Domestic Flight.①	空港内での英語対応を学習する
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	UNIT02:Ticketing for a Domestic Flight.②	
学 年	2年生	担当教員	Sara Cogan	3	UNIT02:Domestic Flight Check-in①	チェックイン時の英語対応を学習する
科 目 名	English for Hospitality	時間数	34単位時間	4	UNIT02:Domestic Flight Check-in②	
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	Review: Domestic Flight Dialogue	
使用テキスト名	Hospitality English			6	UNIT03:International Flight Check-in ①	
補助教材				7	UNIT03:International Flight Check-in ②	
				8	Review: International Flight Check-in Dialogue	
科目概要と科目到達目標				9	UNIT04: Airport Lounge Service①	ラウンジと乗換時の英語対応を学習する
実際のエアライン会社が研修で使用しているテキストを用い、英語での様々なシチュエーションに対応するための実践力をリスニング・スピーキング・ロールプレイを通して会得する。				10	UNIT04: Airport Lounge Service②	
				11	UNIT05: Assisting Transit Passengers①	
				12	UNIT05: Assisting Transit Passengers②	
授業の進め方・学習方法・課題 教科書を用いて単語、リスニング、スピーキング、ロールプレイを行い、インプットとアウトプット力を身に着ける				13	UNIT06: Baggage Issues①	荷物引取時の英語対応を学習する
				14	UNIT06: Baggage Issues②	
評価方法・成績評価基準  ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	UNIT07: Welcome Aboard①	搭乗時の英語対応を学習する
				16	UNIT07: Welcome Aboard②	
				17	Review: Dealing with customers	復習:お客様対応のロールプレイを行う
				18	UNIT08: Before Takeoff①	機内サービスの英語対応を学習し、ロールプレイを実践する
				19	UNIT08: Before Takeoff②	
				20	UNIT09 In-flight Service①	
21	UNIT09 In-flight Service②					
22	Roleplay: In-flight service					
実務経験教員の経歴				23	UNIT10: In-flight Sales①	離陸時の英語対応を学習する
				24	UNIT10: In-flight Sales②	
				25	Roleplay: In-flight sales	
				26	UNIT11:Passenger Care①	
				27	UNIT11:Passenger Care②	
				28	Roleplay: Passenger Care	ロールプレイの復習をする
				29	UNIT12: Before Landing①	
				30	UNIT12: Before Landing②	
				31	Roleplay:Before Landing	ロールプレイを行い、実技にて評価を付ける
				32	Review: Roleplay from Airport Lounge Service	
				33	Review: Roleplay from Welcome Aboard	
				34	Evaluation: Roleplay	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	自己分析 オリエンテーション	テストの苦手分野を知る
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	旅行専門用語解説と習得 単語特訓1	旅行専門の単語の確認
学 年	2年生	担当教員	坂上 啓貴	3	旅行専門用語解説と習得 単語特訓2	旅行専門の単語の確認
科 目 名	航空&旅行英語Ⅱ	時間数	17単位時間	4	旅行専門用語解説と習得 単語特訓3	旅行専門の単語の確認
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	旅行専門用語解説と習得 単語特訓4	旅行専門の単語の確認
使用テキスト名				6	旅行専門用語解説と習得 単語特訓5	旅行専門の単語の確認
補助教材	観光英検 過去問題			7	旅行専門用語解説と習得 単語特訓6	旅行専門の単語の確認
				8	旅行専門用語解説と習得 単語特訓7	旅行専門の単語の確認
科目概要と科目到達目標				9	旅行専門用語解説と習得 単語特訓8	旅行専門の単語の確認
観光英検3級取得のため、英語で旅行知識や航空業界で必要な英語を理解できる力を養う。				10	旅行専門用語解説と習得 単語特訓9	旅行専門の単語の確認
				11	旅行専門用語解説と習得 単語特訓10	旅行専門の単語の確認
				12	自習・質問	ウィークポイントの確認
				13	自習・質問	ウィークポイントの確認
				14	過去問題	確認テスト
				15	過去問題	確認テスト
授業の進め方・学習方法・課題				16	過去問題	確認テスト
テキストと問題集に掲載の旅行専用単語を覚え、次年度に繋げる 定期的に豆テストを実施。				17	総まとめ	まとめ
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
実務経験教員の経歴				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	1	イントロダクション 異文化理解のすすめ	なぜ異文化理解が必要なかを学ぶ
学年	2年生	担当教員	金相範	2	異文化コミュニケーション①～文化とは何か～	文化とは何かを学ぶ
科目名	異文化理解	時間数	17単位時間	3	異文化コミュニケーション②～自文化への気付き	自分を振り返る
開講期間	後期	授業形態	対面授業	4	異文化コミュニケーション③～異文化適応～	異文化について適応段階を学ぶ
使用テキスト名	異文化理解入門(研究社)			5	異文化コミュニケーション④～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
補助教材				6	異文化コミュニケーション⑤～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
科目概要と科目到達目標 異文化比較と理解を進め多様性社会への対応力を高める				7	文化・文明の衝突①～異文化に対する偏見～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				8	文化・文明の衝突②～差別と異文化理解～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題 授業前半は教材に沿って「異文化」とは「コミュニケーションとは」を学ぶ 授業後半は異文化間で生じる問題についてグループワークで話し合い 問題解決を模索する。 ○対面授業と遠隔授業の併用実施				9	文化・文明の衝突③～世界の価値観～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				10	文化・文明の対話①～文化背景の違い～日本編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				11	文化・文明の対話②～文化背景の違い～他国編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				12	文化・文明の対話③～異文化の受容～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				13	文化・文明の対話④～非言語コミュニケーション～ケーススタディ	非言語の重要性を知り、理解を深める
				14	文化・文明の対話⑤～非言語コミュニケーションの種類～	非言語の重要性を知り、理解を深める
実務経験教員の経歴				15	文化・文明の対話⑥～多文化共生社会への参画～	多文化共生社会についてグループで話し合う
				16	文化・文明の対話⑦～多文化共生社会への参画～発表	多文化共生社会についてグループで発表する
				17	期末試験	
				18		
				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Chapter1 1. Vowel & Diphthong Lesson1	母音の発音を理解する
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	1. Vowel & Diphthong Lesson2	母音の発音を理解する
学年	2年生	担当教員	真島先生	3	1. Vowel & Diphthong Lesson3	母音の発音を理解する
科目名	Pronouciation II	時間数	17単位時間	4	1. Vowel & Diphthong Lesson4	母音の発音を理解する
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	1. Vowel & Diphthong Lesson5	母音の発音を理解する
使用テキスト名	Well Said Intro			6	1. Vowel & Diphthong Lesson6	母音の発音を理解する
補助教材				7	1. Vowel & Diphthong Lesson7	母音の発音を理解する
				8	1. Vowel & Diphthong Lesson8	母音の発音を理解する
科目概要と科目到達目標				9	1. Vowel & Diphthong Lesson9	母音の発音を理解する
科目概要: 日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う				10	1. Vowel & Diphthong Lesson10	母音の発音を理解する
科目到達目標: ネイティブスピーカーとのコミュニケーションに支障のないレベルの発音を身に付け、 日常会話、ビジネスにおけるスムーズな会話を実現する				11	2. Consonants & Semivowels Lesson11	子音の発音を理解する
				12	2. Consonants & Semivowels Lesson12	子音の発音を理解する
				13	2. Consonants & Semivowels Lesson13	子音の発音を理解する
				14	2. Consonants & Semivowels Lesson14	子音の発音を理解する
授業の進め方・学習方法・課題				15	Review	
CDIに合わせて日本人が苦手な母音の特徴を理解し、ネイティブと練習する				16	Assessment	
○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	発表	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期テストの点数30% ②発音の正確さ30%、③出席率20%、④授業態度20%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
学 年	2年生	担当教員	阿部/北村/古沢/矢後	3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
科 目 名	国際理解Ⅱ	時間数	68単位時間	4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
使用テキスト名				6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
補助教材				7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
科目概要と科目到達目標				9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。				10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、				11	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。				12	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら				13	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				14	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには				16	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。				17	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う				18	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				19	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
				20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
評価方法・成績評価基準				21	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
				22	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				30	発表①	一年の活動報告
				31	発表振り返り	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案



国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	手話の基礎知識（目指すもの・評価・検定）自己紹介
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	自己紹介①	名前 あいさつ 指文字
学年	2年生	担当教員	中林幸恵	3	自己紹介②	誕生日 星座 数 年齢 指文字
科目名	手話入門	時間数	17単位時間	4	自己紹介③	年齢 月日 曜日 指文字
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	都道府県①	北海道～北陸地方
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門			6	都道府県②	関東地方～中国地方
補助教材				7	都道府県③	山陰地方～沖縄地方
				8	ゲーム	都道府県 かるた
科目概要と科目到達目標				9	検定対策 6級試験 単語を学ぶ①	6級単語と使いながらロールプレイ
手話検定試験6級取得に向けた授業展開				10	検定対策 6級試験 単語を学ぶ②	6級単語と使いながらロールプレイ
⇒基本的な手話表現力ができる あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる。				11	検定対策 6級試験 単語を学ぶ③	6級単語と使いながらロールプレイ
⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。				12	聴覚障がい者の方からの授業	手話を読み取れるか？表現できるか？
				13	手話DVD「オレンジデイズ」	手話の読み取りができるか？
				14	検定対策①	6級試験問題
授業の進め方・学習方法・課題				15	検定対策②	6級試験問題
手話検定6級取得に向けて、検定対策の単語学習・ロールプレイの実施。手話も言語のひとつということから楽しく手話を学んでいく。				16	検定対策③	6級試験問題
○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	手話検定試験6級	検定試験
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	1	レクリエーション①：マフィアゲーム体験	オンライン上でできるレクリエーション紹介
学年	2年生	担当教員	金相範	2	レクリエーション②：ライヤーゲーム体験	オンライン上でできるレクリエーション紹介
科目名	韓国コミュニケーション実践演習	時間数	17単位時間	3	指導体験①：マフィアゲーム指導	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	4	指導体験②：ライヤーゲーム指導	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
使用テキスト名	韓国ボードゲーム			5	レクリエーション③：韓国伝統ゲーム体験(ユンノリ)	韓国民族遊び体験
補助教材	Youtube動画資料			6	レクリエーション④：韓国伝統ゲーム体験(コンギ)	韓国民族遊び体験
科目概要と科目到達目標				7	指導体験③：韓国伝統ゲーム体験(ユンノリ)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				8	指導体験④：韓国伝統ゲーム体験(コンギ)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
<p>韓国は高い教育熱の裏側に、習い事ばかり強いられ、人々との付き合いの苦手な若者が物凄く多い。この授業では、コミュニケーション能力向上と韓国の文化体験を目標に、韓国の大学や企業でよくあるレクリエーションを予め体験する。さらに、習った内容を自ら教えてみることで、進路に悩む学生に「講師」というお仕事体験もできるようにする。</p>				9	レクリエーション⑤：韓国ボードゲーム体験(ブルーマーブル)	韓国ボードゲーム体験
				10	レクリエーション⑥：韓国ボードゲーム体験(泥棒逮捕)	韓国ボードゲーム体験
				11	指導体験⑤：韓国ボードゲーム体験(ブルーマーブル)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				12	指導体験⑥：韓国ボードゲーム体験(泥棒逮捕)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				13	レクリエーション⑦：韓国大学・企業のOTで行うゲーム	韓国大学・企業のOTでできるゲーム体験
				14	レクリエーション⑧：韓国大学・企業のOTで行うゲーム	韓国大学・企業のOTでできるゲーム体験
授業の進め方・学習方法・課題				15	指導体験⑦：韓国大学・企業のOTでできるゲーム	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
<p>2週間韓国のレクリエーションを教え、2週間学生が直接講師として指導する。 チームを4組もしくは8組に分け、順番通りレクリエーションの講師として、学習した内容に基づいて指導してみる。 ボードゲームなど韓国語の知識がかなり必要なものは、アジア言語科の学生に担当させ、 言語知識があまりなくてもできる授業は、他学科の学生に指導体験をさせる。</p>				16	指導体験⑧：韓国大学・企業のOTでできるゲーム	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				17	韓国レクリエーション講師体験で感じたことについてレポート作成	
評価方法・成績評価基準						
①授業への積極的参加60% ②レポート課題20% ③出席率20%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	挨～牙	演習
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	瓦～嗅	演習
学 年	2年生	担当教員	阿部塊地	3	復習テスト	テスト及び解説
科 目 名	漢字検定演習	時間数	17単位時間	4	巾～喉	演習
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	乞～腫	演習
使用テキスト名	硬筆書写技能検定公式テキスト			6	復習テスト	テスト及び解説
補助教材	なし			7	呪～膳	演習
				8	狙～椎	演習
科目概要と科目到達目標				9	復習テスト	テスト及び解説
ワープロソフトで文書を作成することが多くなり、自動変換機能の支援により現代人はますます漢字が書けなくなっている。社会人のための一般教養として漢字を学び、語彙を増やすことにより豊かな表現力を養う。				10	爪～罵	演習
				11	剥～壁	演習
				12	復習テスト	テスト及び解説
				13	蔑～治	演習
				14	弥～脇	演習
授業の進め方・学習方法・課題				15	復習テスト	テスト及び解説
全ての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使うことを目標として練習問題と暗記をくり返し、最終的には漢字検定2級合格を目指す。  対面授業と遠隔授業の併用実施				16	読み・部首・熟語・四字熟語・対義語・類義語	演習
				17	同音・同訓異字・誤字訂正・送り仮名	演習
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい				
				1	プロローグ	文学作品の読み方を知る				
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	第1章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける				
学 年	2年生	担当教員	古沢 通子	3	第1章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける				
科 目 名	現代文学研究	時間数	17単位時間	4	発表①	自分の考えをまとめて発表する力を養う				
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	第2章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける				
使用テキスト名	赤と青のエスキース PHP出版社			6	第2章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける				
補助教材	パワーポイント スライド			7	発表②	自分の考えをまとめて発表する力を養う				
<b>科目概要と科目到達目標</b> 2022年本屋大賞2位作品を読み解く。 先を読む力、文章を読み解く力、人の意見を聞く力、自分の考えをまとめて発表する力を養い、就職後に活かせるよう、能動的な姿勢を身につける 一冊の本を元に、物事を深く考え、自分の言葉で人に説明する力を養う。				8	第3章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける				
				9	第3章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける				
				10	発表③	自分の考えをまとめて発表する力を養う				
				11	第4章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける				
				12	第4章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける				
				13	発表④	自分の考えをまとめて発表する力を養う				
				14	エピローグ	文学作品を読み解く力を身につける				
				15	定期試験 発表⑤	自分の言葉で人に説明する力を養う				
				16	定期試験 発表⑥	自分の言葉で人に説明する力を養う				
				17	まとめ					
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b> 授業の3日前までに、決められた章(部分)を読み、解釈を200字程度のレポートで提出する。 授業時はそのレポートを元に発表、話し合いをして進めていく。 定期試験はPPTを作成し、プレゼンテーション形式で発表を行う。				18						
				19						
				20						
				<b>評価方法・成績評価基準</b> ①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% <b>【成績評価基準】</b> A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21		
								22		
								23		
								24		
								25		
								26		
								27		
28										
29										
30										
<b>実務経験教員の経歴</b>				31						
				32						
				33						
				34						

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Itroduction to Movie Maing	Technics, examples and plot
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	Story-Boarding	Create Movie groups; Create a movie scenario
学 年	2年生	担当教員	マーク マリン	3	Story-Boarding Finish	Complete scenario writing
科 目 名	Making Movies	時間数	17単位時間	4	How to film from a story-board; Camera technics	Camera technics; lighting; perspective; sound
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	Shoot Movie Plan; Saving Data	How to shoot scenes; save data; editing
使用テキスト名	教材はすべて講師が用意します。			6	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
補助教材				7	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
				8	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
科目概要と科目到達目標				9	Reassess movie progress	Check data and sound; reshoot if necessary
ムービー制作の基本原則を教えること。 自分のスマートフォンをムービー制作の道具として活用する方法を紹介します。				10	Reassess movie progress	Check data and sound; reshoot if necessary
				11	Complete movie shoot; gather all data	Begin final edit process; sound editing
				12	Complete movie shoot; gather all data	Continue final edit process; sound editing
				13	Adding Graphics	Learn how to add graphics; titles; credits; etc.
				14	Adding Graphics	Continue graphics; titles; credits; etc. editing
授業の進め方・学習方法・課題				15	Fianl edit; pre-showing	Check final edit and show movie; assess final product
ムービー制作のデバイスとして、各自が所有するスマートフォンを使用します。 ストーリーボードを使って映画のプロットを作成し、映画制作のタイムラインを計画する。 グラフィックは、生徒用ムービーを上映する前の最終編集で追加される予定です。				16	Fianl edit; pre-showing	Final edit and movie assessment
				17	Student Movie Festival	Show all student movies
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 % ②授業への積極的参加(出席率) % ③提出物 % ④学習意欲 %				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	1	【演習】文の内容一致選択 ①	リスニング力を向上させる
学年	2年生	担当教員	北村 裕美	2	【演習】文の内容一致選択 ②	リスニング力を向上させる
科目名	Intensive English II	時間数	34単位時間	3	【演習】音読パッセージ問題①	スピーキング力を向上させる
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	4	【演習】音読パッセージ問題②	スピーキング力を向上させる
使用テキスト名	CALLAN METHOD Student's Book With Vocabulary Stage 1		Intensive English student work	5	短文の語句空所補充①	リーディング力を向上させる
補助教材				6	短文の語句空所補充②	リーディング力を向上させる
科目概要と科目到達目標				7	会話の内容一致選択①	リスニング力を向上させる
				8	会話の内容一致選択②	リスニング力を向上させる
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し総合的な英語力を身に付ける 様々なシチュエーションに対応できる英語力を身に付ける				9	イラスト問題①	スピーキング力を向上させる
				10	イラスト問題②	スピーキング力を向上させる
				11	意見・応答問題①	スピーキング力を向上させる
				12	意見応答問題②	スピーキング力を向上させる
				13	意見応答問題③	スピーキング力を向上させる
				14	長文の語句空所補充	リーディング力を向上させる
授業の進め方・学習方法・課題				15	長文の語句空所補充	リーディング力を向上させる
語彙、センテンス、リーディングを音読中心に継続して行う 集中力を高められるよう個々での学習を増やす  ○遠隔授業のみ実施				16	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				17	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				18	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				19	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				20	意見応答問題④	スピーキング力を向上させる
評価方法・成績評価基準				21	意見応答問題⑤	スピーキング力を向上させる
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	CALLAN METHOD Lesson 1	会話表現をマスターする
				23	CALLAN METHOD Lesson 2	会話表現をマスターする
				24	CALLAN METHOD Lesson 3	会話表現をマスターする
				25	CALLAN METHOD Lesson 4	会話表現をマスターする
				26	CALLAN METHOD Lesson 5	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				27	CALLAN METHOD Lesson 6	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				28	CALLAN METHOD Lesson 7	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				29	CALLAN METHOD Lesson 8	問題提起をする
				30	CALLAN METHOD Lesson 9	問題提起をする
				31	Revision Exercise 1	様々な状況に応じた質問に返答する
実務経験教員の経歴				32	Revision Exercise 2	様々な状況に応じた質問に返答する
				33	Revision Exercise 3	様々な状況に応じた質問に返答する
				34	Revision Exercise 4	様々な状況に応じた質問に返答する

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	SUCCESS P59～62企業訪問について①質問事項	就職活動の心構え
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須	2	SUCCESS P63 企業訪問のお礼状について	お礼状の書き方
学 年	2年生	担当教員	北村 裕美	3	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科 目 名	就職実務Ⅱ	時間数	34単位時間	4	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	SUCCESS P66 就職試験のマナー	面接時のマナーの理解
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識 最新最強のSPI			6	SUCCESS P67 控室でのマナー	面接時のマナーの理解
補助教材				7	SUCCESS P68～69 椅子の座り方、お辞儀の仕方	立ち居振舞について
<b>科目概要と科目到達目標</b> 科目概要:就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う 科目到達目標:就職試験に向けて、履歴書の内容を自分の言葉で自分らしく伝えられ、希望先企業への内定が目標。				8	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
				9	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
				10	SUCCESS P70 面接試験対策 ①面接試験の形式	面接対策
				11	個人面接 ①受験者1に対して面接官1人②受験者2に対して面接官2人	面接対策
				12	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				13	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b> 就職試験の為に一般常識問題、SPI対策を中心に、模擬面接、グループディスカッションを行い、面接試験に備える。  対面授業と遠隔授業の併用実施				14	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				15	SUCCESS P71 面接試験対策 ①集団面接について	集団面接で大切なこと
				16	SUCCESS P71 面接試験対策 ①グループディスカッション	グループディスカッション
				17	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				18	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				19	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
<b>評価方法・成績評価基準</b>  ①一般常識テスト30%②書類作成の理解度10%③出席率50%④面接対策10%  <b>【成績評価基準】</b> A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				20	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
				21	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
				22	SUCCESS P79 圧迫面接の対処法	圧迫面接時の対処法とは
				23	スピーチの訓練	人前での1分間のスピーチのポイント
				24	スピーチの実践演習	実践1分間のスピーチのポイント
				25	適性検査について	業界によって違う検査の特徴
<b>実務経験教員の経歴</b> 航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で必要な人材など育成に関する実務経験7年。				26	適性検査の種類と内容	業界によって違う検査の特徴
				27	受験後の報告	入社承諾書、お礼状の書き方
				28	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				29	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				30	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				31	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				32	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				33	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				34	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	秘書検定補講について 今後の授業の進め方	苦手箇所を学生に出してもらいカリキュラム作成
学科名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	第1回 郵便物について	様々な郵送方法
学年	2年生	担当教員	北村 裕美	3	小テスト	
科目名	秘書検定2級対策授業(補講)	時間数	17単位時間	4	第2回 表書き	慶弔の表書き 様々な表書き 意味
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	小テスト	
使用テキスト名	秘書検定2級 よく出る問題！集中レッスン			6	第3回 社外文書と秘扱い文書	社内文書も含める
補助教材	パワーポイント スライド			7	小テスト	
				8	第4回 時候の挨拶	手紙の書き方
科目概要と科目到達目標				9	小テスト	
科目概要:秘書検定2級取得を目指す				10	第6回 上司への取り次ぎ	不在時の取り次ぎ
科目到達目標:秘書検定2級取得				11	小テスト	
				12	第7回 名刺	
				13	第8回 弔事について	葬式・葬儀・通夜などの流れ
				14	小テスト	
授業の進め方・学習方法・課題				15	第9回 敬語表現	
1年次で秘書検定2級を学んだことを検定試験に向けて再度確認&小テストの実施				16	過去問題 練習①	
学生が一番苦手とする章をカリキュラムの中に落とし込み、集中して学ぶ				17	過去問題 練習②	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期テストの点数30% ②発音の正確さ30%、③出席率20%、④授業態度20%				23		
【成績評価基準】				24		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26		
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				27		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界から得たマナーなど、社会人にて必要なビジネスマナー対応など関わる実務経験7年。				33		
				34		